

全国農政連推薦・県農政連公認 参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

「今、やるべきこととは何か」

【再びの宣言発令と大雨被害】

全国各地で新型コロナウイルス感染者数が急増し、第1波から4波を上回る第5波の危機に直面しています。感染急拡大の要因は、感染力が強い変異ウイルス「デルタ株」へと置き換わり、感染者の9割を占めるのは、ワクチン接種が進んでいない45歳以下の世代です。首都圏のみならず全国的に医療現場では病床のひっ迫が進み、医療崩壊の危機に警戒感が強まっています。

熊本県も8月8日から再度、まん延防止等重点措置の適用となりました。再び要請された飲食店や集客施設等への時短営業により、農畜産物の需要低下で荷動きが鈍くなり、相場下落の展開が続き非常に厳しい状況となっています。

8月11日以降、日本付近に停滞した前線が西日本から東日本の広い範囲に観測史上最大の大雨をもたらしました。猛烈な雨が断続的に続いたことで、熊本県内でも一部の河川で氾濫や土砂災害が発生し、農作物や農地への被害が出ました。昨年の7月豪雨からの復興道半ばを襲った大雨により、営農意欲をなくし離農を考える農家が現れてもおかしくありません。私にできることは、自民党農林水産災害対策委員会事務局長として被災状況を把握し、被

災された農家の皆さまが安心して営農の復旧・再開に取り組める一番必要な支援策を早急に講じることであります。この先何十年も希望を持って農業に打ち込める環境づくりとして、生産基盤の強化に繋がるよう全力で取り組んでまいります。

【新事務所の開所】

8月11日、東京都内にて藤木しんや後援会の新事務所開きを執り行い、来年度の参議院議員通常選挙に向けて新たなスタートを切りました。選挙まで残り1年を切り、全国の農家・JAの皆さまからの激励を源に、専業農家出身のJAグループ組織代表国会議員として恥ずかしくない戦いができるように精進してまいります。

上京された際には、ぜひ後援会事務所にお立ち寄り下さい。生産現場の声を聞かせていただき、皆様の更なるご指導・ご鞭撻を頂ければ幸いです。



▲東京都内に設置した事務所開きの様子

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの

農政問題に斬り込む

「JAグループは、自信を持って、

地域農業の将来を築こう」

【農林水産省は、令和3年8月6日、大阪堂島商品取引所の「米先物取引」の本市場申請に対して、不認可を決定】

JAグループは一貫して、米の先物取引に反対し、党の会合でも主張してきました。その主張の柱は、

①わが国の主食たる米の生産・流通・販売に関して、なぜ、投機的な扱いによる「もっけ主義」を主眼とする先物取引等の対象に「米」を扱つか、国家の基本姿勢が問われる政策転換である。

②全国の多数の農業者・地域の競争をあり、優勝劣敗を進めることで、生産性向上や、コスト低減を進めるということなのだろうか、一体、どんな農業者や地域を作ることになるのか、日本の農業を、地域を、農業者を、壊すことにならないのか。ましてや、規制改革推進会議等が、農業への大々的な株式会社への参入や、市場原理主義を打ち出している。

③これは、島国で、季節変動に対応しながら、大切な「日本」と「多様な地域」を支えてきている、農業者の存在と日本の地域を壊し、さらには、米と「主食の安定供給」を壊し、ひいては「政治的な安定」をも揺るがす、第一歩を踏み出すものであると言わざるを得ないのです。

を得ないのです。

④ましてや、市場原理と競争を促す、規制改革推進会議等の検討の経過からしても、日本の地方の安定や、地域を支える協同の取り組みを壊しかねないものであり、絶対に容認できません。

【私は一貫して、米の先物取引に反対を主張】

私は先頭に立って一貫して、米の先物取引に反対してきました。

それはひとえに、わが国の米政策が、ここへ来て市場原理の導入と、ややもすると地域におけるJAグループの取り組みを「ないがしろ」にし、自由な生産・流通による競争の世界に入ろうとしているのではないかとこの懸念です。

今日、農水省は、党や農業者の反対もあり、規制改革推進会議等の強い要求をはねのけて、米の先物取引の導入を認めませんでした。しかし、いつ、再び市場競争をおおる動きが出てくるのでしょうか、懸念があります。

こうした状況の下で、改めて、全国の農業者とJA等をはじめとする地域の農業団体、農業委員会、土地改良区、そして市町村、県等の行政機関としっかりと連携し、地域の米づくり、農業づくりの絵を、そして政策を、描かなければなりません。

【ヨーロッパのサファエル政策に

学びましよう！】

ヨーロッパの国々の政策は、サファエル政策等による、新規就農者対策を中心に、地域に根ざす農業者の安定を政策の基本に展開されています。これらのことをきちんと学び、わが国の農業者の経営所得安定政策の強化・充実を実現してゆきましょう。

参議院議員

Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや



活 動
報 告



米の需給安定に向け
野上農水大臣へ要請



熊本県青協より推薦



党農林部会で米需給について質問



事務局長として
養蜂議員連盟を開催



JA全青協役員の皆さんと
意見交換



高知県内のJAを訪問



北海道内のJAを訪問

- 新型コロナウイルス対策に全力で
立ち向かっています
- より二層農政に多様な
農家の声を反映させます
- 農業と地域の未来に挑戦します

